

鴨川ホルモー



©2009 「鴨川ホルモー」 フィルムパートナーズ

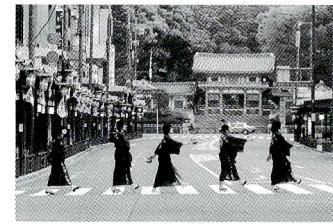
京の街に、気がつけばオニがいる?! 声高に叫ぶは、「ゲロンチョリー！」

ご存知、万城目学著「鴨川ホルモー」が、待望の映画化。千年続く阿呆の祭典(バトル)「ホルモー」は、京都の東西南北(京大、立命、龍谷、京産)の4大学対抗で行われる。1チーム10人構成で、1人100匹ずつ「オニ」を持ち、オニ語を操って戦う。オニが全滅、もしくは降参すると負け。と、この基本ルールさえ知っていれば、原作を未読でも充分に楽しめる。ちなみに、オニは体長30cm、体重1kgの式神。とはいって、一条戻り橋の下で待機しているわけではなく、彼らの姿はホルモーを行う資格を持つ者にしか見えない。主人によって見た目も異なるオニたちは、「きゅきゅ」と鳴きな

がらそこかしこで飛んだり跳ねたりしている、という具合。

口ヶ地は4大学をはじめ、吉田神社、百万遍、出町柳三角州、渡月橋、三条会商店街、清水寺、京都タワー…と数多あり、中には左京区アーティストの堀端・銀月アパートや、西陣・紋屋町路地など、ディープスポットも垣間見られる。底抜けに阿呆なバトルを観戦するうちに、改めて京都の魅力を感じ入る。次の休みあたり、南禅寺でも散歩してみようか、なんてガラにもないことを考えたり。なお、「ゲロンチョリー」の意味は、映画館でお確かめを。

(山田涼子)



■「鴨川ホルモー」
4.18 (Sat) ~
■ MOVIX京都、他
■ 監督／本木克英 出演／山田孝之、栗山千明、濱田岳、石田卓也、芦名星、荒川良々、石橋蓮司、他
<http://www.horomo.jp/>

朝起きたら、新聞を取りに行く。新聞に目を通す。京都十もう1紙というのがスタンダードで、それが朝毎読産か、日経かスポーツ新聞か、赤旗か聖教か統一日報かで、その家のらしさがわかるというものだ。その新聞が遊び道具になつたり、野菜を保存する包み紙になつたり、掃除のときの埃とりになつたりする。もちろん油ものを拭き取るのも使われる。それでも余った新聞は、ちり紙交換に出すと10円玉に化けたりする。その10円はお小遣いなわけで、子供はしっかりと古新聞を管理するのである。母親に出されたときにはちり紙になつてしまふ。

そんな新聞を取りに表に出たときに気がつくのが門

エコ、そうエコなんだけれど、考えれば考えるほど京都暮らしへエコじやありませんか…ねえ。だからこそ、この京都議定書つてやつは、当たり前のこと当たり前に過ごしてきてることを、まるでトンチのように京都人に突きつけている気がするのは僕だけだろうか? 周りにいるうるさい人間達は、エコエコなんて言つていらないし、炭酸ガス排出(?)と、僕は飲み屋で言つているなんて、考えて抑制するものでも何でもない。だって、小学生が屁理屈こねてゐるみたいなもんさ…そう「息できへんやん、そんなん(笑)」。

【第18回】
炭酸ガス云々なんて考えて生きなくとも、きっとと大丈夫。
京都で普通に京都の人らしく生きること。
それ以上のエコはないような気がする。

肩の力を抜いて、自由に語ろう…、
京の街と付き合うということ。
**街
演
算**
の
保伊戸宵
(ほいとよい)

イベント・ライブ・演劇に映画、
CDリリースから書評に至るまで、
骨太entertainmentを丸飲み!

MOVIE
4.18 ~
(Sat)

WE LOVE SATURDAYS.

EVENT
5.2~
(Sat)



サタデーナイトの行き先迷ったら、 いつでも世界 -WORLD- のパーティに！

春になったと同時に、世界-WORLD-が仕掛けてきた。ウィークエンドを木屋町で遊ぶ人たちには嬉しい知らせ。5月から毎週土曜を「WE LOVE SATURDAYS.」という総合タイトルで展開していくというのだ。第一週が石野卓球、第二週にDJ EMMAの「EMMA HOUSE」、第三週に大沢伸一の「FEARLESS」、第四週にDJ SUGIURUMNの「HOUSE BEAT」、第五週にTOWA TEIの「MOIVATION」といった並びでレギュラー開催

するとのこと（月によってシャッフルもあり）。

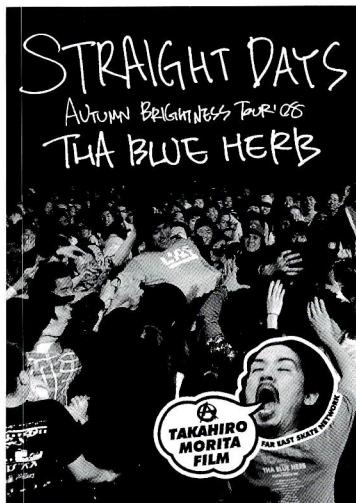
世界規模で活躍するDJたちが、同クラブがこれまでに築いてきた流れをより大きなものにするように、がっぷりとタッグを組んだのだ。東京にも大阪にもない、ロンドンやニューヨークにもないクオリティと楽しみをもった、世界-WORLD-ならではの夜。流行りも深さも両方ある、ハッピーでエッジーな夜が毎週末に繰り広げられるのだ！

（中谷琢弥）

■「WE LOVE SATURDAYS.」 ■ 5月より毎週土曜 ■ OPEN 22:00~ ■ 料金：未定
■ 世界WORLD
京都市下京区西木屋町四条上ル真町97
イマージュアムビル2F~B2F
☎ 075・213-4119
<http://www.world-kyoto.com>

STRAIGHT DAYS -AUTUMN BRIGHTNESS TOUR '08- / THA BLUE HERB

RELEASE
発売中



言葉とビートが深く強く響き、 聴く者たちを殻から解放する。

DJ KRUSHのミックスCD「Code4109」(00年)に「知恵の輪」が収録されたことで、その存在をドープヘッズたちに知らしめてから10年弱、進化を続けながらもTHA BLUE HERBは変わらずライブという現場で「共感」を分かちあっている。彼らが昨年秋、1ヶ月で全国17カ所を回ったツアー(関西は京都MUSEのみ、写真はそのときの1枚)の模様を収めた2枚組DVDをリリースする。

おせっかいかもしれないが、このライブDVDを

見ただけで、THA BLUE HERBを体験した気には、知った気にはならないでほしい。フロアで彼らと対峙することしか感じることの出来ない数々の思いが強烈にあるから。4日にはメトロに登場するしね。

でも、このDVDもまた「あれが俺ら、ありのままの俺ら」(ILL-BOSSTINO)と言うようにリアルなわけで。「好きなように、できれば前向きに解釈して」(同)ってこと！

（中谷琢弥）

■「STRAIGHT DAYS -AUTUMN BRIGHTNESS TOUR '08-/THA BLUE HERB」 ■ 発売中
■ THA BLUE HERB RECORDINGS TBHR-DVD-002 4500円
■ <http://www.tbhr.co.jp/>
■ REBELDOM 8th Edition×THA BLUE HERB ■ 4.4 (Sat) ■ OPEN / START 21:00~ ■ 前売り2500円 当日3000円
■ 出演：THA BLUE HERB, OKI, DJ TACMA, KAZHIRO feat. DR. HASEGAWA, KYOHEY, 書道家 椅沼鬼山、他
■ METRO 京都市左京区川端丸太町下下鶴提町46 恵比須ビルB1F ☎ 075・752-4765 <http://www.metro.ne.jp>

保伊戸宵(ほいとよ)／コピーライター&編集者。なんか最近、企業のCD-ROMレポートや環境報告書みたいなのはかり編集している気が…。さらに滋賀&琵琶湖絡みのDVDもやっていて、コラムの僕うぶうどうで変わつて… エコエコラ
イフ進中！？

モノだってそうだ。大型ホームセンターに行かなくて、料理屋の隣で棕櫚箪が買えたり、百貨店に行かなくて、も気の利いた茶碗や風呂敷が買えることがエコだということだ。

なんかじじくさいやつだと思われるかもしれないが、今まで書いたことを実践しているような店が、今までこれからも京都における良い店の条件のような気がするし、京都の店や、普通に暮らしている人こそがエコなんだ

ということだけは分かつてほしい。敷居の高い低いではない、玄関がきれいで、キチンとした洒と料理を出して、器や箸にこだわって、新聞紙とは言わないがリサイクル&リデュースを食材の保存やサービスの一環として当たり前のようにしている、まさに足を知る店こそ、京都の町衆から愛され、また支えてきたのだ。

掃きだ。近所のオバハンの誰かが必ずやつていて。掃除したことよりもきれいにしておくことによる気分の良さをそこで経験した人間は、いつでもどこでもきれいにしておくことに億劫ならない。それのどこがエコかって？ 身の回りをキチンとしておくことは、ものを無駄にしない。無駄な買い物や無駄な消費をしない。これは環境のエコだけでなく、経済のエコ(ノミー)にも役立つものだ。決してケチではない。要るものや、足りているものが分かった生活をする、それだけのことだ。

こんなことを書いていると、紙幅もへったくれもなくなってしまうが、酒だつてそうだ。酒がエコなのではない。瓶に入つて運ばれている、そんな酒をキチンと飲むことだ。祖父も、親父も母親も、紙パックやアルミ缶の酒を飲まないし、買ってきたのを見たこともない。そう、酒造メーカーは缶や紙パックの方が瓶よりも保存がきくし衛生的だという。しかし、酒に限らずキチンと瓶詰めされたものを貯蔵期限内にちゃんといただくほうが、どういうわけか美味しいし、リサイクル&リデュースが実感できる。横着な食べ飲み方をしなくなるし、不思議なことに茶碗や箸だってきちんと使うようになる。